

新春鼎談

邑楽町の今と未来

2022年新春の特別企画として、邑楽町長・商工会会長・農業委員会会長の3者会談(鼎談)をお届けします。邑楽町の今と未来を各分野からの視点でお話しいただきました。

令和3年を振り返って

町長 一昨年から続く新型コロナウイルスウィルス感染症(以下、新型コロナウイルス)の対策として、町では自粛や感染防止対策などの協力をお願いするメッセージの発



昨年5月から始まった、町でのワクチン接種

信、国の交付金を活用した各種支援事業、昨年5月からのコロナワクチン接種事業とさまざまな動きがありました。特に昨年のコロナワクチン接種事業では邑楽館林医師会の協力のもと、できる限り早急な接種に取り組み、現在は接種対象者約2万4千人の約88%が2回の接種を終了しています。

商工会長 町の商工業は新型コロナウイルスの影響で厳しい状況が続いている分野が多くあると感じています。そうした事業者に対しては、国や県、町の補助金を有効活用してもらい、会員の皆さまに対して経営指導員や商工業支援相談員がアドバイザーやサポートを実施してきました。ま

た、例年開催されてきた、おうち祭りや産業祭などの大きなイベントがここ2年は全て中止となっています。イベントに限らず、さまざまな交流の機会が奪われていることで会員同士のつながりが薄れていくのではないかと懸念しています。

農委会長 農業者にとっても新型コロナウイルスの影響は大きく、外食産業やインバウンドなどの需要の減少から、価格が下落している農畜産物が多く見られます。農業者にとっては不安な日々が続いていると思います。

商工会長 確かに飲食業や観光業は厳しいとの声を聞いています。その影響を受けて廃業が増えないことを願うばかりです。しかしその中でも、試行錯誤している事業者もいます。テイク

アウトや出前などを新たに始めた事業者やネット注文などを導入して、新たな業態に対応して頑張る声も聞いています。

町長 町でもそうした事業者を支援していくため、令和2年度にはテイクアウトや出前などを始める事業者に向けた「邑ごはんお持ち帰り・出前支援事業」を実施してきました。また、令和3年度も引き続き実施している、新型コロナウイルス対策としての経営革新などに最大50万円を補助する事業や飲食店・理美容店・介護事業所などに対し消毒液の配布を行うなど、さまざまな施策を展開してきました。

邑楽町長
金子 正一

かねこまさかず●1942年生まれ。昭和37年に邑楽町役場に入職後、福祉課長や町教育委員会学校教育課長を歴任。平成15年から邑楽町議会議員を務め、平成19年からは現職。邑楽町長4選は歴代初。

ます。また、プレミアム付商品券には反響があったと思います。ぜひ引き続き実施していたければありがたいです。

町長 町としてもコハクペイを利用したプレミアム付商品券は効果があつたと感じています。実際、12月の初旬には完売になるほど好評でした。来年度以降も続けていけるように検討していきたいと思っています。

で、価格が不安定な状況が続くと思います。引き続き、支援を続けていただければ助かります。

商工会長 商工業にとって後継者不足は課題だと感じています。2代目、3代目と事業を継続することが理想ですが、後継者がいなくて廃業する人も出てきている印象です。また、事業を拡大するときに町外へ出て行ってしまうのではないかと課題もありました。土地の活用が推進されることを期待しています。

題は私も非常に重要だと考えています。土地の活用については、法的手続きが非常に複雑なもので時間も掛かります。しかしその中で国や県との協議などで大切になるのが、皆さまからの声です。そうした声があれば、ぜひ町に届けていただければと思います。



地域経済の活性化を目的に始めたコハクペイは好評に付き4か月で完売しました

町商工会会長
長山 清 さん (渋沼・19区)

ながやまきよし●1955年生まれ。邑楽町商工会会長。これまで商工会青年部長や理事、副会長などを歴任。昨年6月に商工会の第8代会長に就任し、町の商工業の発展に尽力。尚長山建築工房の代表取締役。



各分野の現状や課題

農委会長 農業に携わる人材の不足は重要な課題だと思えます。こうした状況が続くと、耕作放棄地なども増えていくことが懸念されます。だからこそ、農業に若い力が徐々に入って来ることを期待しています。今も若い人で作付面積を拡大したり、ハウスでの栽培など施設園芸に力を入れている人も出てきています。こうした人々を応援していくことも大切だと考え

農委会長 農地の利活用が進む施策はぜひお願いしたいです。また、農業委員会としても、農業委員や農地利用最適化推進委員と協力して利活用を進めていければと思います。

町長 商工分野での後継者問



今年秋ごろの竣工に向け施行中の生活拠点整備の現場(邑楽南中学校東)

力を確保するためには、住む場所の確保も大切だと思います。そういった観点でいえば、空き家の活用は農業にとっても良いことだと考えています。しかし、新規で農地を取得するには高いハードルがあるのが現状です。そうした部分で今後の課題になっていくと思いますので、農業委員会としても共に考えていければと思います。

地区計画で広がる未来

す。そうした専門家の意見を聞くと共に、町の不動産業や建築業など町民に身近な皆さんからも空き家などの情報を町につなげていただければと思います。

町長 現在、町が取り組んでいる国道354号沿道の邑楽南中学校周辺を中心とした地区計画ですが、約100ヘクタールの土地を有効活用するために取り組んでいます。これにより、この地域に一定規模の開発を誘導し、地区全体の利便性を向上させることで、住環境を良くしていくものです。また、その中で邑楽南中学校の東側にバスターミナルや農産物直売所などが今年秋ごろのオープンを目標に進められています。こうした店舗ができることは町内の農業者にとっても良い場所になると思います。先ほども話した、ハウスなどの施設園芸に対する補助の拡充を検討しているところですが、そうしたことも直売所の活用につながればと考えています。

空き家の活用について

商工会長 邑楽町も空き家が増えていて、約300戸あると聞いています。こうした空き家を人口増につなげていけるのではないかと考えます。現在はテレワークの人も増えていることから、そうした人々を邑楽町に呼び込むことができるのではないかと思います。

農委会長 農業の担い手や労働

町長 町では空き家を有効活用することを目的に本年度から「空家バンク」の運用を開始したところで、「空家バンク」は、空き家になった不動産を登録することで、貸し手と借り手をつなぐ役割を果たす場所になっていきます。また、「空家等対策協議会」も立ち上げて、さまざまな専門家に意見を聞きながら、空き家の活用について模索しているところでもありま

農委会長 農産物直売所は農業者にとって新たな販路となり、

町の農業を推進することにもつながりますし、町の活性化にも寄与するのではないかと考えています。また、そうした動きによって若い人たちが農業に関心につながってほしいと思います。

商工会長 町の商店にとっても新たな販路につながると思います。ですが、直売所に出荷する上では、販売価格や出店手数料などが重要になってくると思います。

町農業委員会会長

天谷 豊さん(藤川・16区)

あまがいゆたか●1949年生まれ。平成23年に農業委員に委嘱され、平成26年に会長に就任し3期目を務めている。自身で農業法人の設立に向けて模索するなど、町の農業発展のために尽力を続けている。

若い世代へ向けて

町長 これからはますますITを活用していく時代になっていくことから、若い世代の人たちの意見や知識は町の新しい行政運営にとって重要になります。今後は、若い世代の人たちとの対話の機会などを作ること、その実現を図っていかねばと思っています。

商工会長 邑楽町出身の若い人々にはぜひ、邑楽

町に戻ってきてほしいと考えています。私自身も邑楽町は良いところでもとても住みやすい場所だと思っています。これからはそういった部分も商工会として若い世代にPRしていければと思います。

農委会長 若い世代に農業の

魅力をぜひ知っていただき、担い手になってほしいと思います。最近ではスマート農業という言葉もありますが、新たな農業のカタチが生まれていて、やり方次第では、十分収益をあげることもできると考えます。今までは農業に興味があつた若い世代にも受け入れてもらえる



ように農業の魅力伝えていければと思います。

未来へ向けた抱負

商工会長 ここ2年間は自粛が続き、活動が消極的になっていくところもありますが、商工会員のヨコのつながりを生かし

発掘や支援をし、町の活性化に向けて取り組んでいきたいと考えています。

農委会長 未来に向けた町の農業の課題は後継者問題であり、新たな担い手の育成だと考えます。これからは農業委員会として、そうした課題の解決に向けて話し合いを行い、邑楽町の農業を今以上に発展させていければと思います。

て、新型コロナが落ち着いた際には、おうら祭りや産業祭などを始めとした町を盛り上げる活動を成功させていければと思います。また、新たに邑楽町で起業を目指す人や若い世代で町を盛り上げていきたいと考える人などを商工会の職員と一緒に

町長 町では令和3年から令和7年の5年間のまちづくりの計画である第六次総合計画後期基本計画のもと『やさしさと活気の調和した夢あふれるまち。おうら』の実現を目指し、未来に向けたまちづくりに誠実に努めています。これからは役場職員とともに、町民の皆さまの期待に応えられるようなまちづくりを続けていければと思います。今後とも町民の皆さまにはより一層のご支援とご協力をお願いできればと思います。最後になりますが、本年が皆さまにとってますます輝ける年になりますよう心からお祈り申し上げます。

